

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2023年6月1日 237号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



ゴミ拾いをした、エスペランサの子どもたちとチャパボラ。5月15日



みなさん、お母さんへのメッセージカードを作りました。



エスペランサをきれいにしましょう。5月15日



お母さんいつもありがとう。



コルマン・カパタイさん。

このような地域活動はずっと継続していきます。チャパボラはエネルギーがあります。青年の感性と行動力を活かし、心情的つながりをいっそう深めるとともに、地域コミュニティとの交流における新しい分野を開拓できればと思っています。

チャパボラのエスペランサ・プロジェクト

チャパボラのレポートより…5月15日、チャパボラの持続的な地域活動の一環として、佐野道准先生の同道で、エスペランサ村を訪問しました。エスペランサ村は、先住民の村としてはレダから最も近く、24年前にレダ開拓がはじまった時以来ずっと、さまざまな交流が続いています。エスペランサからは労働力の提供、レダからは奉仕隊の派遣、学校舎の建設、文具や教科書の贈呈、街路樹の植樹などが主なところ。今回の訪問では、小中統合校の校長先生コルマン・カパタイさんとの対談、「母の日プロジェクト」(パラグアイで5月15日が母の日なので)、ゴミ拾い活動、遊びなどをしました。コルマンさんとの対談…「私たちは月に一度、エスペランサ村でゴミ拾い活動をしていきたいと考えていて、それと共に、何かエスペランサ村のためにできることがないか模索している」と、コルマンさんに相談しました。コルマンさんは「エスペランサ村の先生、子供たち、日本人たち、皆で一つになって植樹や掃除をすることを通して、村全体を綺麗にするプロジェクトをしていきたい」とのこと。そこで、次回のエスペランサ・プロジェクトは6月9日、先生や子供たちと一緒に、学校に20本の木を植えることに決まりました。母の日プロジェクトでは、学校の教室を借りて、子供たちからお母さんへのメッセージカードを作りました。



レダを囲む堤防にて、西方から東方を望む。左が堤防の外側、右が内側、赤い屋根は公館。4月28日



島田家のレダ上陸1周年を記念して。4月20日



家族で収穫したバジルを使ってスパゲッティ。5月6日



チャパボラがエビを調理。5月7日



トミー(豊村)さん、ありがとう。3月2日



パブロさんとトウモロコシ収穫。5月10日



みずみずしいレタスを収穫。5月7日



マンジョーカ畑での作業。5月7日



こんなトウモロコシも。5月7日



力を込めて、カボチャを切る。5月10日



みんなの大好きなチパを焼く。5月7日



レダの食卓に上の野菜。5月7日

チャパボラ体験者の声(2)

昨年7月から約8か月間レダで活動したチャパボラ一期生を対象にアンケートを実施しました。本紙先号に続き、回答を掲載します。以下、質問です。

- Q1 レダに初めて到着した時の印象は？
 Q2 レダでは何を担当しましたか？
 Q3 レダで最も苦心したことは何ですか？
 Q4 レダで最もうれしかったことは何ですか？
 Q5 今後の抱負をどうぞ。
 Q6 今、日本と世界の皆様に伝えたいことは？

●船戸君 (一期生第2陣)



A1 自然が豊かで素敵
な場所だなぁ！
 A2 水産(パクー養殖)
 A3 水産は毎日草刈りや汚泥取りと言った、地味で体力を使う仕事が多く、正直毎日大変だったし、仕事に行くのが面倒になることも死ぬほどありました。しかも僕は水産に興味関心が無いこともあって、なかなか仕事もモチベーションが上がらないことも多々ありました。でも、自分がレダに来た動機に立ち帰り、祈った時に、開拓一世の方々が苦労してきた道を自分も経験したかったし、文先生がこのレダの地に賭けてきたものがあるならば天のために精诚を尽くしたいと思ってここに来たの思い出しました。そこで改めて、一世の方たちが「僕の僕(しもべのしもべ)」の立場から歩んでいたのだから、自分自身も傲慢にならず、謙虚に「僕の僕」の立場から歩もうと思ひ、感謝して歩めました。
 A4 かけがえのない兄弟姉妹と出会い、この大自然の中で神様の愛を感じながら日々生活できたこと。
 A5 レダでの経験を活かして必ず海賊王になります！
 A6 是非レダに来てくださいー！

●大西さん (一期生第2陣)



A1 大自然がまるでテーマパークや映画のセットのよう
で興奮しました。
 A2 農業です。
 A3 与えられた環境に對して一生懸命になること。それまで農業とは無縁の生活だったの
で、意気込んで仕事をスタートした反面、植物に對して情を抱きにくく、仕事でも雑念があったり蚊や暑さに對する不平不満の思を抱え「もっと働きやすい環境だったら全力で頑張れるのに」と、植物にまっすぐに向き合えない理由を環境のせいにしてしましました。
 しかし、私にこのような仕事や環境を与えてくれた神様のことを考えてみた時に、自分はどのような環境であっても与えられたらそれに感謝して他のために尽力できる人になりたいと思ひました。
 いつも通りの仕事の中で、どんなに些細なことも大変なことも無理矢理感謝に捉えてみました。それ
を続けていく中で喜びに満たされ、為に生きることにも貪欲になりました。
 残りわずかとなりましたが、最後まで最大の力を発揮できるよう頑張ります。
 A4 毎日神様の愛を感じやすかったことです。
 見慣れてしまった街の景観とは違い、日々美しく更新されていく大空の動きや豊かな生き物に囲まれた中で、共に歩む仲間たちとあいさつを交わし、語り、笑い、時に泣いたりして過ごす毎日が最高の贈り物だったと思ひます。
 また、目指す方向を向いて頑張ろうとすれば必ず
 試練がやってきますが、その度に神様を求めると、
 レダの地が聖地だからか、すぐに人や環境を通して
 答えを示してくれて、神様がいつも共にいらっしや
 ることを感じました。

感謝していることをあげ出すとキリがないですが、
 すべてのことから背後に神様がいらっしやることを
 実感できて、とても嬉しいです。
 A5 ここでお出會った新たな自分と共に再出発して、
 死ぬまで新しい自分と出會い続け、最大の力を人の
 ために活かしていく自分になります。

A6 神様と、そして自分自身と強い絆で結ばれば、
 これから先どんな道を選ぼうと、この道は正解だっ
 たと言えるようになるはず。一緒に頑張らましよう！
 ●山崎君 (一期生第1陣)



A1 移動時
間が長かった。
 A2 パクー
養殖チーム。
 A3 引き継
ぎ書の書き方、
書類をどうやっ
て残すか。
 A4 オリンポのピルロさんが、定期的にレダのパクー
を購入してくれたことです。
 A5 レダの経験を元に、自分の足りないもの、やり
たいことが明確になったので、実行していきたい。
 A6 レダに来てくださいー
 ●首藤君 (一期生第1陣)
 A1 ナメック星(編注…架空の惑星)かと思ひました。
 A2 建築部門の修繕です(扉の調整から豚小屋の屋
根上に貯水タンクの土台
を造ったり等)。
 A3 自分の朝拝担当が
回ってこなくなる方法の
模索(でも毎回ちゃんと
やり遂げました。)
 A4 レダでの歩みで、
20kg痩せられたことです。
 A5 それは健康なカラ
ダづくりです。
 A6 思い立ったが吉日。
 ■今月の「南米遠望」はお
休みさせていただきます。



第25回パンタナール・ワンデイセミナーを開催

去る4月29日(土・祝)、東京代々木のオリンピック記念青少年総合センター、センター棟3階の研修室において、当法人とNPO法人地球の緑を守る会を主催して「第25回パンタナール・ワンデイセミナー」を開催しました。会場は定員を上回る盛況。参加者の意識も高く、熱意に満ちた一日となりました。

大型連休の初日、早朝は曇天でしたが、次第に初夏の明るい日差しが現れました。会場に集い来る参加者たちの表情もにこやかで、挨拶の声も元気そう。開会時刻は従来より早めて10時でしたが、その直前に来場した方も多く、あつという間に定員80名の会場が満席になりました。参加総数は81名でした。

司会は、今やベテランの和田賢一氏。最初の講義は「レダ開拓の歴史」と題して提唱者文鮮明夫妻の構想と心情を伝える柴沼講師。次いでレダプロジェクトの現状と今後のビジョンを中田代表理事がコンパクトに解説。レダの近くを通る南米横断回廊(ハイウェイ)の意義も取り上げられました。記念撮影と昼食の後、高津講師による「レダ草創期の植樹活動」では今回もポット苗を持参し、実践的な講義をされました。



4月29日 オリンピック記念青少年総合センター：石川仁氏撮影

そして藤生青年局長が青年関連の諸活動に関して、各地におけるチャパボラの帰国報告会、未来人材の発掘と育成の方策などを生々しく紹介。その洗練されたプレゼン手法も光りました。

各講師を囲んでの「分科会」では、レダに行くにはどうすればよいのか、どんな準備が必要か、レダでの生活はどのようなものか、など具体的な質疑応答が活発になされました。高橋夫人による「入会案内」では、愛した牛(肉牛)を売るために、牛と最後の別れをする娘の話が紹介され、感動を呼びました。プログラムの最後は、感想文を書く時間。「レダに行ってみよう」「レダを応援したい」など、積極的にレダに関与したいという思いを述べた感想が多くありました。そして午後4時、熱意をほらみながらも和やかな雰囲気の中、セミナーが終了しました。次回は、9月30日(土)の開催を予定しています。

あなたの腕と経験をレダで活かしませんか(1)

去る1月21日、青年局主催のオンラインイベントでレダの青年たちが熱く訴えたように、レダでは技術を持ったシニアの力を求めています。これまでの人生で培った腕を、価値ある場所を活かしてみませんか？

第二の人生の場を求めている方、より大きな世界で働きたい方、自分自身を超えて完全燃焼したい方、レダがあなたを待っています。

車両整備士…レダは、2tトラック、トラクター、四駆ピクアップ、ディーゼル発電機、小型ボートと船外機などを使っています。不十分な整備と、過酷な環境下での使用ということもあり、現状では頻繁に故障が生じ、業務に支障をきたすことがよくあります。そこで適切なメンテナンスを行い、故障を極力防ぎ、また適切に修理してくれる人材が切望されています。

土木技師…レダには毎年、雨季と乾季とがあります。雨季には道路が寸断されたり、橋が流されたりして、車両が使えなくなり。そこで現場に赴き、道路や橋梁の弱い部分を的確に見極め、簡単には壊されないような設計をし、施工を監督してくれる専門家が求められています。お問い合わせは下記事務局へ。



**一般社団法人
南北米福地開発協会 事務局**

〒213-0001
神奈川県川崎市高津区
溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821
FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

e-メール: office@asd-nsa.com
ホームページ: https://asd-nsa.com
Facebook: https://www.facebook.com/ledaproject.jp/

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット(印刷済み)、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。

入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>



レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版

紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。

<https://asd-nsa.com/sk/>

